

本日のプログラム

挨拶

5分

- 事務局挨拶
- 本日の概要説明、前回の振り返り

共有

5分

- ひかりが丘住宅線と生駒ニュータウン線の利用状況を共有します。
【資料2】

話し合い

75分

- みなさんの関心の高いテーマについて、全員（住民・奈良交通・市）で話し合います。
※前回の続き 【資料1のP2】

終了

5分

- 事務局挨拶

話し合い：関心の高いテーマについて、皆で話し合います ※前回の続き

前回は、7つの協議テーマのうち、「運賃無料DAYを盛り上げるためのPR方法とは?」「利用者数増加に直接つながる取組案を、三者協議で考えて実行してほしい」の2テーマを話し合いました。

今回は、残りのテーマから関心の高かったテーマから順番に、皆で話し合います。

※前回関心が高かったテーマは、「寄付を集めるには?」「問題意識をもってもらうためには?」です。

協議テーマ		前回の 選択人数	前回の 話し合い状況
1	問題意識をもってもらうためには?	5人	
2	寄付を集めるには?	3人	
3	運賃割引による利用促進を図るためには?	2人	
4	●●向けのバスマップを作成するには?	1人	
5	利用状況を知ってもらうためには?	0人	
6	運賃無料DAYを盛り上げるためのPR方法とは?	2人	話し合い済
7	利用者数増加に直接つながる取組案を、三者協議で考えて実行してほしい【市長ミッション】		話し合い済 (今後市が各地域の集まりで実行していく)

問題意識をもってもらうためには？

協議
したい
内容

地域みなさんに問題意識をもってもらうために、地域で何ができそう、何をしたらよいと思いますか？

(生駒市・奈良交通の取組)

- 地域の集まりへの参加や出前講座を実施
- ILBHの卒業生とコラボした取組を検討中

Memo

寄付を集めるには？

協議
したい
内容

路線バスのための寄付を集められそうですか？

集めるための中心は自治会ができそうですか？

寄付金以外で、金銭面での支援をする方法を考えますか？（例；自治会主体で定期券購入等）

(生駒市・奈良交通の状況)

- 奈良交通への一般の寄付行為は、地域で寄付をまとめていただけると、路線の収入として受付可能
- 生駒市役所が主体となったふるさと納税型クラウドファンディングは、あらかじめ予算化する必要があり、ワンストップ特例制度の事務手数料などで寄付額から一定の控除が発生する。

Memo

運賃割引による利用促進を図るためには？

協議
したい
内容

地元負担による運賃割引の取組は可能ですか？
協賛金や店舗での割引サービスなどお願いできそうなお店等はあるそうですか？

(生駒市・奈良交通の状況)

- 公平性や費用面から、特定地域を対象とした行政負担による運賃施策は困難

Memo

●●向けのバスマップを作成するには？

協議
したい
内容

具体的なマップのテーマ（●●に入る言葉）は？
掲載する内容の収集やマップ制作等をしてくれそうな人は、地元にいそうですか？

(生駒市・奈良交通の状況)

- 生駒市役所から予算の範囲内でマップ印刷費用の支援は可能
- 8/31のIKOMAサマーセミナーで作成した具体例などは提示可能

Memo

利用状況を知ってもらうためには？

協議
したい
内容

効果的な発信方法（媒体、頻度、発信する利用データの種類等）は？
見せ方で注意すべきことは？

(生駒市・奈良交通の状況)

- 毎月の利用状況が分かるようになりました
- 生駒市役所のHPやSNSは利用可能（発信可能）

Memo

共有①：利用状況の推移 路線全体（平日）

■ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用状況推移（ICカード実績）

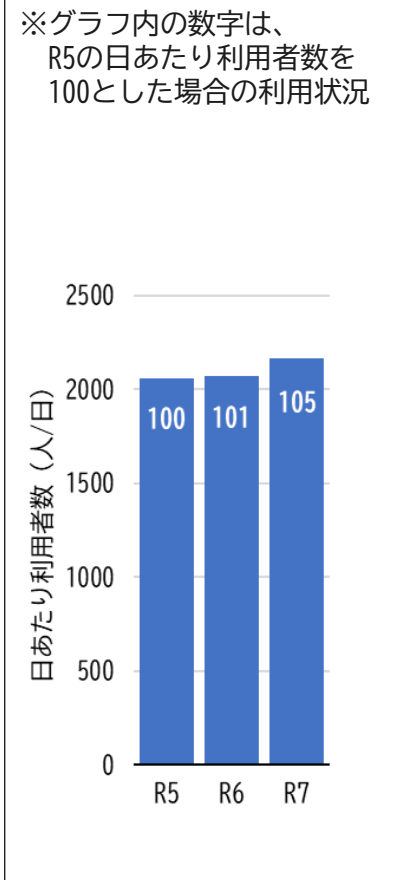
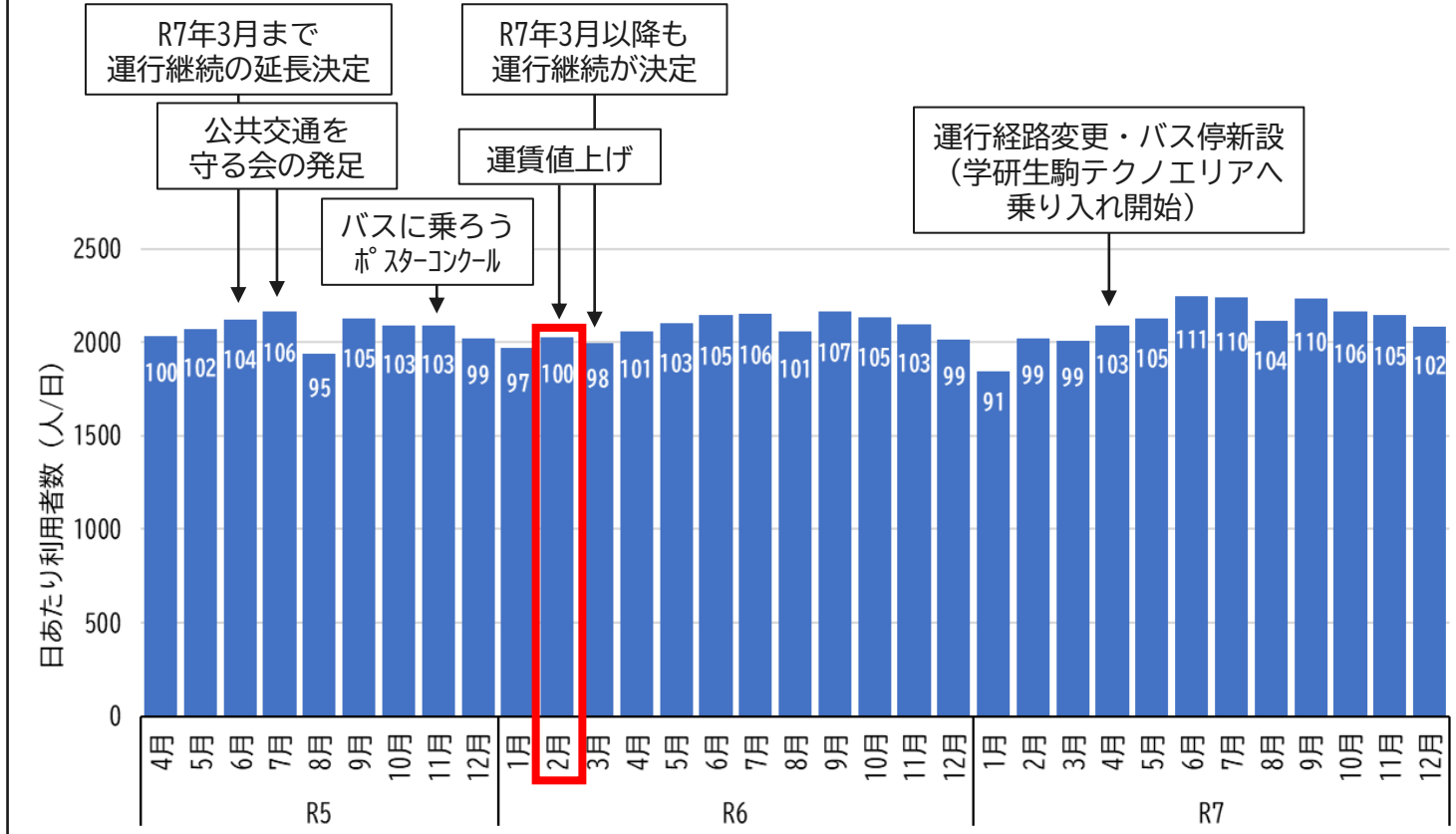
- ・平日について、月別の推移をみると、令和7年の4月以降は、前年や前々年の同月と比べて、利用が増えています。また、年別の推移でも、令和7年は利用が増えています。

<月別の利用状況>

<年別の利用状況>

※グラフ内の数字は、R5. 4月の日あたり利用者数を100とした場合の利用状況

※グラフ内の数字は、R5の日あたり利用者数を100とした場合の利用状況



※ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の三者協議は、R5年2月から開始

共有①：利用状況の推移

路線全体（休日）

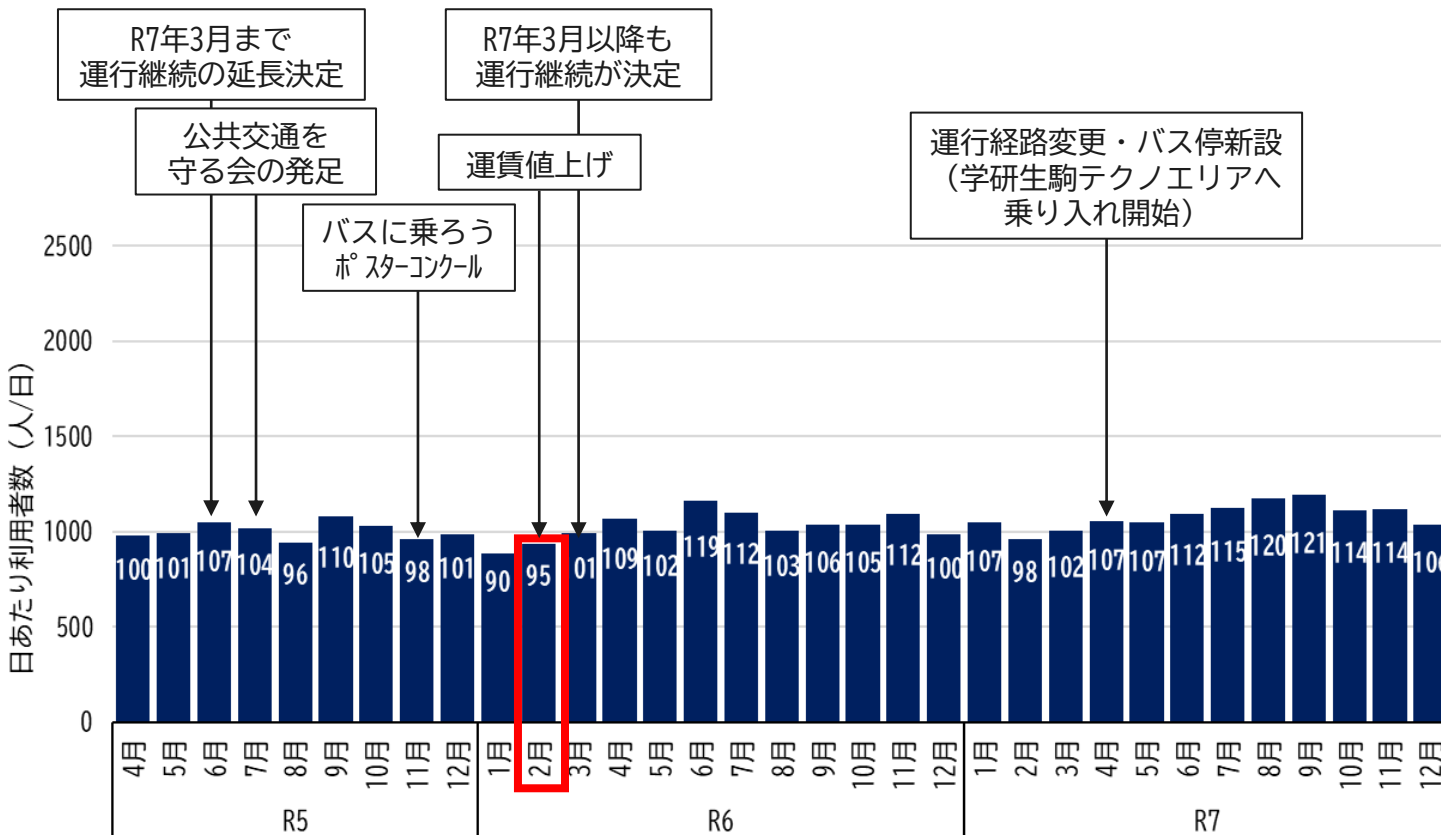
■ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用状況推移（ICカード実績）

- ・休日について、月別の推移をみると、令和7年の4月以降は、前年や前々年の同月と比べて、利用が多い傾向にあります。また、年別の推移でも、令和7年の利用が増えています。

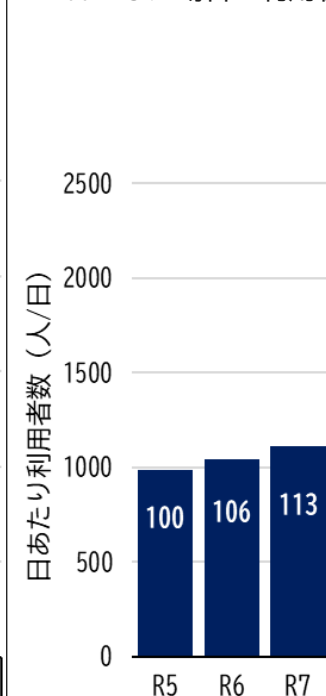
<月別の利用状況>

<年別の利用状況>

※グラフ内の数字は、R5.4月の日あたり利用者数を100とした場合の利用状況



※グラフ内の数字は、R5の日あたり利用者数を100とした場合の利用状況



共有①：利用状況の推移

学研生駒テクノエリア（平日）

■ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用状況推移（ICカード実績）

- ・令和7年4月より、ひかりが丘住宅線の運行経路を変更及びバス停を新設し、学研生駒テクノエリアへの乗り入れ開始しました。
- ・学研生駒テクノエリアの周辺バス停（学研生駒テクノエリア・イモ山・ひかりが丘住宅口の合計）の平日の乗降人数をみると、前年同月と比べて、利用が増えています（11月除く）。
⇒学研生駒テクノエリアで働く従業員が通勤利用しているためと想定される

